

伝国の杜 こども狂言クラブの一年



こども狂言クラブ「稽古はじめ」

平成 25 年 4 月 20 日（日）

伝国の杜こども狂言クラブは、平成 25 年 4 月 20 日（日）に、本年度（平成 25 年度）の稽古はじめを行いました。この日を皮切りに、こども狂言クラブの新年度の活動が始まります。

平成 25 年度は、小学生 3 名、中学生 3 名、高校生 1 名の計 7 名でのスタートです。

稽古はじめでは、平成 25 年度の活動予定や計画等を話し合いました。こども狂言クラブでは、東京から和泉流狂言師の山下浩一郎先生を講師に招いています。平成 25 年度は、6 月から翌年 3 月まで毎月 1 回ご指導して頂くことに決定しました。

山下先生による稽古は、主に土・日曜日に、習う演目ごとに数人ずつのグループに分かれて行います。

山下先生から教わった演目を基に、各自が自宅での予習や復習稽古のほか、毎月 2 回程度、自主稽古会を伝国の杜能舞台で開き、積極的に参加して練習に励んでいます。学校の長期休暇中は、平日に自主稽古なども行います。そのうえで、狂言・小舞の演目を増やしていくことを目指します。

こども狂言クラブは、1 年間に数回の発表機会があり、稽古の進み具合により出演演目を決め、発表会で成果を披露します。

この日の稽古では、平成 25 年 3 月 20 日（水・祝）に開催された「こども狂言クラブ春休み発表会」から 3 演目をおさらいし、次回の発表会「さくらに舞う会」（平成 25 年 5 月 4 日（土・祝））に向けてのリハーサルを行いました。

◆小舞「兎」



小舞「兎」の稽古風景です。立ち位置や扇を持つ高さ、舞のテンポなどを注意しながら稽古を行いました。

春休み発表会で演じた演目なので、細かい部分までしっかりとおさらいをしました。

小舞「兎」の稽古風景

◆小舞「宇治の晒」



小舞「宇治の晒」の稽古風景

小舞「宇治の晒」の稽古風景です。こども狂言クラブでは、全員が謡を歌えるように練習に励んでいます。

“ちりちりやちりちり、ちりちりやちりちりと・・・”
謡が能舞台に響き渡ります。

◆小舞「暁」



小舞「暁」の稽古風景

小舞「暁」の稽古風景です。高校生の男子生徒が一人で舞います。やり直しを行う場面もありましたが、身についた動きはすぐに立て直すことができます。

◆稽古を終えて



稽古終わりの挨拶

稽古が終わると終わりの挨拶を行ないます。こども狂言クラブでは、礼儀作法もきちんと学びます。

稽古のあとは、発表会「さくらに舞う会」に向けての最終確認を行ないました。

本年度も素敵な狂言を披露できるように、こども狂言クラブの1年が始まりました。



- 取材日 平成 25 年 4 月 20 日（日）
詳細：[伝国の杜こども狂言クラブ 稽古はじめ](#)
場所：伝国の杜エントランス能舞台
- 取材協力 伝国の杜こども狂言クラブのみなさん
公益財団法人米沢上杉文化振興財団 伝国の杜・置賜文化ホール
- 執筆編集 置賜文化フォーラム編集員 佐藤道代